

直播栽培情報 第1号 *鉄コーティング 直播

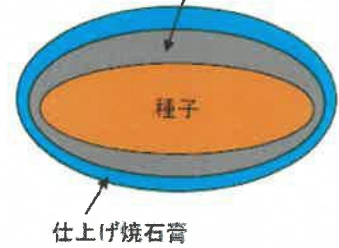
令和 5年4月 14日
 砺波農林振興センター
 となみ野農業協同組合

苗立率の確保に向けて、種籾とほ場の準備をしっかりと！

1. 種子準備 ～比重選・浸種～

- (1)コシヒカリの種籾は10a当たり乾籾で3.0kg程度準備する。
- (2)発芽・苗立ち向上のため、比重選を徹底する。
- (3)浸種は、水温15℃程度で3～4日間、積算温度で60℃を目安に行う。
 ※発芽させないように注意する。

図 鉄コーティング
鉄粉+焼石膏



2. 鉄コーティング

- (1)均一にコーティングするため、籾は十分に水切りする。
- (2)鉄コーティング比は、種子重量の0.5倍とする。
- (3)コーティングした種子は、酸化による発熱を防ぐため、重ならないようにすぐに薄く広げて、種子水分15%以下まで乾燥させる。
- (4)コーティング後の種子は、水分15%以下になっていることを確認してから保管する。
- (5)播種前に必ず発芽試験を行い、発芽率を確認する。
 (30℃で7日間加温後、発芽率を確認する。目標発芽率90%以上。)

3. 代かき ～均平に努める！ねり過ぎに注意～

- (1)播種深度を均一にするため、耕起前に田面の高低差を直す。
- (2)代かきは少なめの水で稲わら等を鋤き込む。また、ねり過ぎないように注意するとともに、均平に努める。

【代かき時期の目安】

砂壤土	播種3～4日前頃
壤土～埴壤土	播種4～5日前頃
大豆跡	播種2～3日前頃

表 鉄コーティング比 0.5の場合の分量

資材	分量(kg)	備考
混合	鉄粉	2.5
	焼石膏	0.25
仕上げ焼石膏	0.125	鉄粉の5%

※種子(乾籾)5kgの場合

4. 基肥量と播種時の注意点 ～目標苗立 40～60 本/m²(12～18 本/m)～

- (1)コシヒカリの播種時期は4月25日～5月10日を目安に行う。
- (2)播種時の土壌の硬さは、1mの高さから落としたゴルフボール上部が0～1cm程度(やや硬め)を目安とする。
- (3)種子が沈みこまない程度の「表面播種」とし、播種作業中は種子や肥料の落下を確認する。
- (4)播種後は、種籾や除草剤が流されないよう、ゆっくりと入水する。

【施肥量の目安(10a 当たり)】

肥料名	LPss 直播コシヒカリ
施用量	25～28kg

※砂質で浅い圃場では30～33kg/10a

【播種時の土壌硬度の目安】

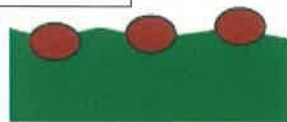


やや軟らかめ



やや硬め

表面播種



適正な土壌の硬さ



ゴルフボール上部が0～1 cm

施肥溝が残り、肥料の粒が見える程度の硬さに！

5. 鳥害対策

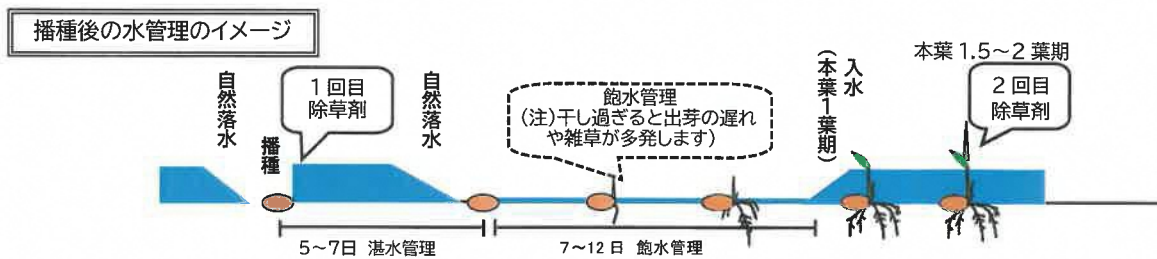
- (1)できるだけカラスの飛来が少ないほ場を選定する。
- (2)スズメが侵入した場合は速やかに**湛水**する。
- (3)カモが侵入した場合は速やかに**落水**する。
- (4)鳥害が予想される場合は、ほ場に水系を張るなど予防対策を行う。



カモやカラスの鳥害対策には、播種後、ほ場周辺に水系を張るなどで飛来を回避する。

6. 除草剤散布と播種後の水管理

- (1) 初期除草剤散布後は5～7日間程度は湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしない。その後、出芽揃いまで飽水管理に努める。
- (2) イネの葉齢と雑草の発生状況を確認し、初中期除草剤は5cm以上の深水状態で散布する。
- (3) 散布後5日間は湛水状態を維持し、散布後7日間は『止水管理』とする。(「落水」や「かけ流し」をしない。)
- (4) 水持ちが悪く、5日間も湛水状態を保てないほ場では、適宜足し水を行い、田面を露出させないようにする。
- (5) 使用時期の範囲内で遅れないように注意する。
- (6) 初中期除草剤処理後は、浅水管理とし、分けつの早期確保に努める。



◎播種後の除草剤

除草剤名		使用時期※1	使用量	使用方法	使用回数
1回目除草剤	バレーガ 1キログラム粒剤	播種同時～ノビエ3葉期まで (ただし収穫 75 日前まで)	1kg/10a	湛水 散布	1
2回目除草剤※2	ゼータタイガー 1キログラム粒剤	イネ 1.5 葉期～ノビエ3葉期まで (ただし収穫 90 日前まで) 目安:播種後 14～21 日頃	1kg/10a	湛水 散布	1
	ゼータタイガー ジャンボ	イネ 1.5 葉期～ノビエ3葉期まで (ただし収穫 90 日前まで) 目安:播種後 14～21 日頃	300g/10a (30g×10 個)	湛水 散布	1
播種後に ヒが多い 場合	クリンチャー 1キログラム粒剤	播種後 10 日～ノビエ3葉期まで (ただし、収穫 30 日前まで)	1kg/10a	湛水 散布	2

※ 1 使用量や使用時期、散布回数等は、農業使用基準を遵守すること。

※ 2 2回目除草剤は、芽が揃い根がしっかり張っていることを確認してから散布しましょう。

< 除草剤散布の例 > 生育、雑草の状態を確認し、遅れず散布！

播種後日数(目安)																						
播種時又は播種直後	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
バレーガ 1キログラム粒剤	→																ゼータタイガー-1キログラム粒剤 又は ゼータタイガージャンボ (イネ 1.5 葉期以降を確認して散布)					

※播種時又は播種直後のバレーガ 1キログラム粒剤の散布後、初中期一発剤は播種後 14～21 日後に散布する。

令和5年 春の農作業安全確認運動実施中！ (3/1～5/31)

危険箇所を確認し、危険回避行動(減速や回避)を実践！ シートベルトとヘルメットの着用！

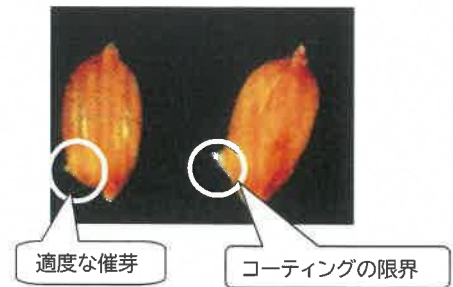
直播栽培情報 第1号 *カルパー直播

令和5年4月14日
 砺波農林振興センター
 となみ野農業協同組合

種籾・ほ場の準備を確実にいき、苗立ち数を確保しましょう!!

1. 種子準備 ~消毒・浸種・催芽~

- (1)種籾量(コシヒカリの場合):乾籾で2.5~3kg/10a準備する。
- (2)種子消毒:モミガードC水和剤200倍液に24時間浸漬する。
- (3)浸種:水温10~15℃を保ち、7~10日間程度実施する。
 発芽率を高めるため、初日の浸種水温は12.5℃以上を確保する。
- (4)催芽:ハトムネ状態~1mm程度の芽の長さ揃える。

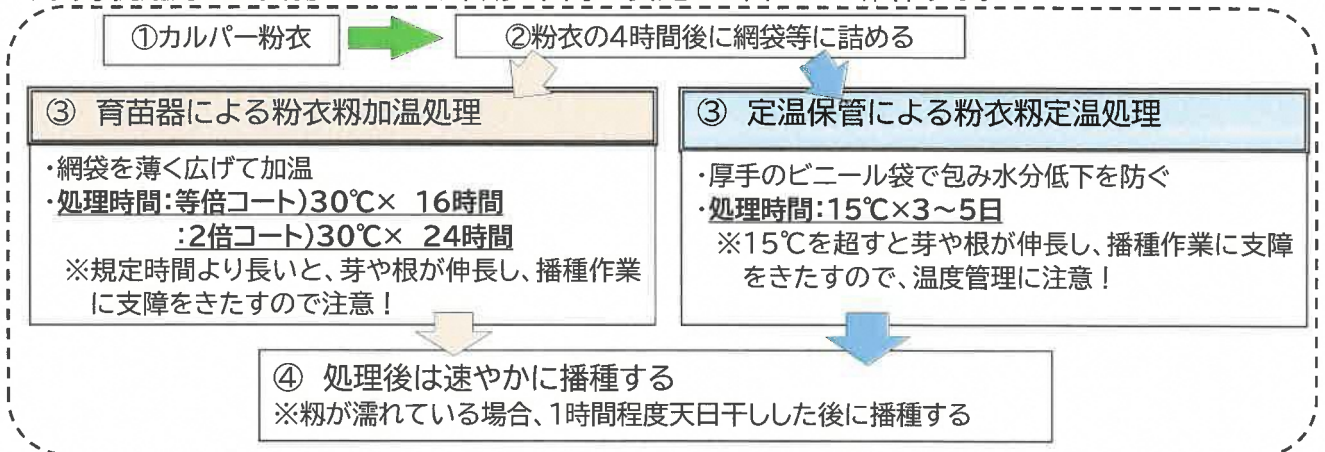


2. カルパーコーティング

- (1)水切り:コーティングを均一に行うため、催芽籾の水切りは確実に実施する。
- (2)粉衣:カルパー粉粒剤16は、乾籾の等倍~2倍量を粉衣する。
 タチガレエースM粉剤(乾籾3kg当たり 90g)は、コーティング途中に加える。
- (3)陰干し:コーティング後は2~3時間陰干し(ただし、乾かし過ぎると割れやすくなるため注意)、コーティング後は早めに播種する。



◇出芽促進処理の実施によって、早期の出芽と安定した苗立ちを確保する。



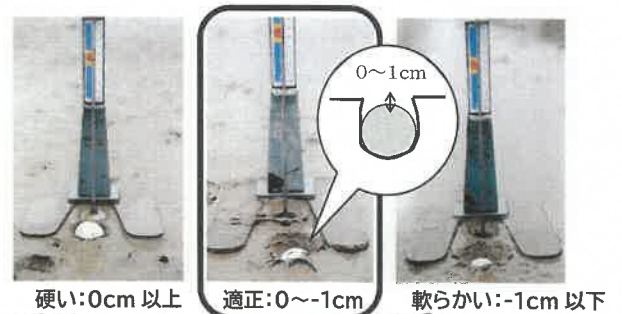
3. 耕起・代かき

~生育を揃えるため、均平に努める!~

- (1)生育期間中の水管理を均一にするため、耕起前に田面の高低差を直す。
- (2)代かきは少なめの水で行い、稲わらをしっかりとすき込む。
 ※ねり過ぎは、酸欠による発芽不良を招くため注意。

【代かき時期の目安】

砂壌土	播種2~3日前頃
壤土~埴壌土	播種3~4日前頃
大豆跡	播種1~2日前頃



播種深度が浅い
 ⇒鳥害や浮き苗が発生しやすい

播種深度が深い
 ⇒酸欠により苗立ち率が低下する

【営農日誌 P40 参照】

4. 播種 ~基肥量・播種量・播種深度~

【播種量の目安(10a当たり)】

乾籾	(コーティング籾)
2.5~3.0 kg	(約 5.7~6.9 kg)

- (1)播種時の土壌の硬さ:ゴルフボールを1mの高さから落とした場合、0~1cm程度沈む程度に調整する。
- (2)播種深度:5~10mmを目標とし、ほ場状況に応じ調整する。

注)コーティング籾はカルパー粉粒剤16を等倍量粉衣した場合

注)試し播きにより、種子や肥料の落下量を調整する。また1筆播種した段階で、種子量・施肥量を確認する。

【施肥量の目安(10a当たり)】

肥料名	LPss 直播コシヒカリ
施用量	25~28kg

注)砂質で浅いほ場では30~33kg

5. 播種後の水管理

～田干しで発芽・苗立ちを均一に確保する～

- (1) **田干し**: 播種後に額縁排水溝や排水不良部分に排水溝を設置し、表面水を排除する。土壌表面に小さな亀裂が入るまで(播種後5～7日程度が目安)田干し状態を保ち、出芽に必要な酸素を供給する。

注1) 砂壤土等のほ場で3～4日で大きな亀裂が入る場合、いったん入水し、再度干す(2段干し)。

⇒ 水尻を止め、1～2cm程度水を溜め、そのまま自然落水とする。

注2) 田干し期間中に大雨や霜が予想される場合は、事前に入水する。

- (2) **入水**: 出芽を確認したら、水深2～3cm程度の浅水管理で分げつの発生を促す。



【適度な田干し状況】

田面に亀裂が入り、足を踏み入れ、2～3cmしか沈まない時期が入水の目安。漏水により除草効果が劣るので、干し過ぎにも注意！

6. 鳥害対策

- (1) カラスの飛来が少ないほ場を選定する。
 (2) スズメの食害は2葉期頃まで注意し、侵入した場合は速やかに湛水する。
 (3) カモの食害は3葉期頃まで注意し、侵入した場合は速やかに落水する。
 (4) 鳥害が予想される場合は、あらかじめほ場に水系を張るなど予防対策を行う。

カモやカラスの鳥害対策には、播種後、ほ場周辺に水系を張る等で飛来を回避する。



7. 除草剤散布とその後の水管理

- (1) **除草剤の散布時**: 出芽後に入水し、入水後2日目(湛水状態が安定した頃)を目安に、5cm以上の湛水状態で散布する。雑草の発生状況に留意し、使用時期*の範囲内で、イネ並びに雑草の発生に応じ、遅れないように注意する。
 (2) **除草剤の散布後**: 散布後5日間程度は湛水を保ち、7日間は『止水管理』とする(「落水」や「かけ流し」をしない)。注) 5日間も湛水状態を保てない等の水持ちの悪いほ場は、適宜足し水を行い、田面を露出させない。
 (3) **散布後の水管理**: 一発剤の処理後は、水深2～3cm程度の浅水管理を徹底し、初期分げつの確保に努めましょう。

◎播種後の除草剤

除草剤名		使用時期(※)	使用量	使用方法	使用回数
播種後処理剤	バルーガ 1キロ粒剤	播種時～ノビエ3葉期まで (ただし収穫75日前まで)	1kg/10a	湛水 散布	1回
初中期一発剤	ゼータタイガー 1キロ粒剤	イネ1葉期～ノビエ3葉期まで (ただし収穫90日前まで) 目安: 播種後11～16日頃	1kg/10a	湛水 散布	1回
	ゼータタイガー ジャンボ	イネ1葉期～ノビエ3葉期まで (ただし収穫90日前まで) 目安: 播種後11～16日頃	300g/10a (30g×10個)	湛水 散布	1回
播種後にヒゲが多い場合	クリンチャー 1キロ粒剤	播種後10日～ノビエ3葉期まで (ただし収穫30日前まで)	1kg/10a	湛水 散布	2回

※使用時期や散布回数等、農薬使用基準に従うこと。

< 除草剤散布の例 >

除草剤の体系	播種後日数(目安)																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
出芽促進処理を実施した場合 または 雑草が少ない場合 (初中期一発処理)																					
出芽促進処理を実施しない場合 または雑草が多い場合 (播種後処理剤+初中期一発処理の体系処理)																					

※1 初中期一発剤は、発芽が揃い根がしっかり張っていることを確認してから散布しましょう。

※2 バルーガ1キロ粒剤を散布した場合は、初中期一発剤の散布を遅らせる。

令和5年 春の農作業安全確認運動実施中! (3/1～5/31)

危険箇所を確認し、危険回避行動(減速や回避)を実践! シートベルトとヘルメットの着用!